

環境と健康

一般財団法人としてスタート 経営ビジョンの具体化めざして事業展開

平成25年4月1日、当協会は一般の公益法人改革に伴い、一般財団法人広島県環境保健協会としてスタートした。新法人では、旧法人の寄附行為を継承した定款に基づき、これまでと変わらず公益を目的とした事業を積極的に実施していく。もちろん、公衛協への支援についても変わりはない。

新法人の発足にあたっては、協会の目的をわかりやすく表現するために、従前の基本理念を見直し、次のとおりとした。

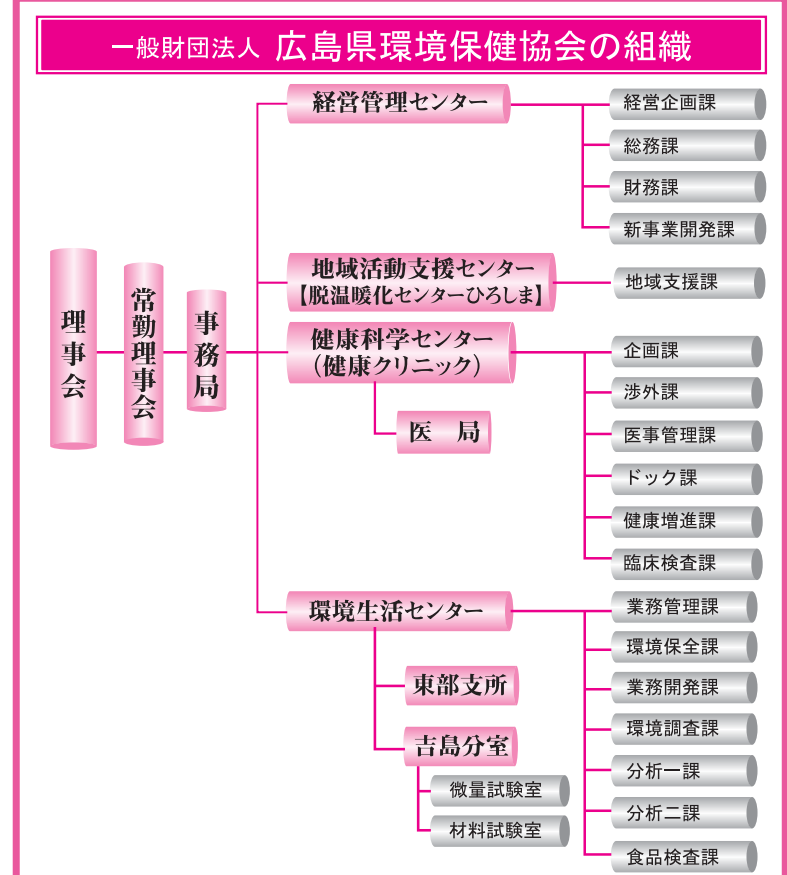
「みんなの生命(いのち)をまもりたい」には、地区衛生組織活動における公衆衛生の概念を含め、「地域社会の発展に貢献します」には、各センターの事業を通じて地域社会の発展に貢献したいという強い意思を示している。

経営強化で新部署設置

当協会は、新法人への移行を契機に組織の一部を改編し、4センター1局18課2室1支所の体制とした(右下図参照)。

- ### 第1次経営ビジョン
- 《社会と共に》
 - 住民による公衆衛生活動を支援する環保協
 - 健やかで安全・安心な暮らしを創る環保協
 - 社会に認められる環保協
 - 《お客さまと共に》
 - お客さまが感動するサービスを提供する環保協
 - 確かな技術と豊富な知識でどのような声にも応えられる環保協
 - 《職員と共に》
 - 職員が知恵と経験を共有している環保協
 - 一人ひとりがプロである誇りを持っていきいき働ける環保協
 - 公益事業を展開するための安定した経営ができる環保協

「経営企画課」を新設し、これまでに検討してきた新事業の具体的な内容がまとまったことから、その事業を推進する組織として新事業開発室を「新事業開発課」に改めた。



ごあいさつ

理事長 近光 章

当協会は、この度の公益法人制度改革に伴い、本年4月1日より一般財団法人広島県環境保健協会として再スタートしました。

一般財団法人に移行するに際しましては、旧法人からの目的を全て継承して公益活動を実践することとしました。一方で、制度改正の要望活動などを行いながら、公益認定取得に向けた検討を行うこととしております。

一般財団法人への移行にあわせて、事業方針を明確にした上で、それに基づいて基本理念を再考し、10年後のありべき姿を経営ビジョンとしてまとめました。その経営ビジョンを具現化するため10年間で3期に分け、平成25年度から平成27年度を第1期として中期経営計画を策定し、多くの課題解決に向けて努力してまいります。

また、3年前から新事業の開発部署を設置し、新しい分野への事業展開を模索してきました。その結果、超高齢社会(65歳以上の人口が総人口に占める割合が21%を超えた社会)において多岐にわたる事業展開が期待できる「健康長寿支援事業」に着目し、健康寿命の延伸を目的とした、サーキット型フィットネス事業を今年8月より開始することとしました。

これまで半世紀にわたり実践してきた、環境と保健に係わる技術やノウハウを基盤に、非営利性が徹底された法人として、引き続き「コミュニティ(地域社会)における公衆衛生、環境保全の向上を目指す、県民の健康づくりと住みよい環境づくりに貢献して参ります。

今後とも新生「環保協」に対しましてご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「環境と健康」の発行日など変更のお知らせ

情報紙『環境と健康』の発行日などが569号から変更になりました。

偶数月の15日発行から、奇数月の1日発行になるほか、ページ数が8ページから6ページに変わります。



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表]
FAX:082(293)1520

かんほきょう 検索

